

第4章 修士学位取得のプロセス

《2017年度以前入学者》

1. 修士課程の修了要件

以下の全ての条件を満たした場合、修了となります。なお、修士課程の修了にあたっては、「修士論文」の単位を修得する場合と「修士論文」の単位を修得しないで修了する場合（非修論オプション）があります。

(1) 修士論文の単位を修得する場合

- a. 入学後4学期以上在籍すること（休学期間を除く）
ただし、早期学位取得要件（※1）を満たした者は除く
- b. 合計30単位以上修得すること（修士論文2単位を含む）
ただし、次の単位は修了に必要な30単位に含めることはできません
 - ・自由科目
 - ・次の単位の合計のうち10単位を超えたもの
 - 入学前先行科目として認定された単位（上限8単位）
 - 他研究科設置の科目として修得した単位
 - 入学後に他大学（留学など）で履修・認定されて修得した単位
- c. 中間発表を実施すること
- d. 修士論文審査に合格すること
- e. 最終試験に合格すること

(2) 修士論文の単位を修得しない場合（非修論オプション）

修士課程の修了にあたっては、修士論文の単位を修得しないで修了する場合（非修論オプション）があります。非修論オプションの修了要件は次のとおりです。非修論オプションを選択する場合は、事前に主査（指導教員）とよく相談してください。非修論オプションを適用する者は、「修士論文」と説明があるものについて、「プロジェクト科目の活動と成果に関する報告書」と読み換えてください。

- a. 入学後4学期以上在籍すること（休学期間を除く）
ただし、早期学位取得要件（※1）を満たした者は除く
- b. 合計30単位以上修得すること
ただし、次の単位は修了に必要な30単位に含めることはできません
 - ・自由科目
 - ・次の単位の合計のうち10単位を超えたもの
 - 入学前先行科目として認定された単位（上限8単位）
 - 他研究科設置の科目として修得した単位
 - 入学後に他大学（留学など）で履修・認定されて修得した単位
- c. 学習指導教員の承認を得た所定の科目の履修条件（GPA条件（※2））を満たすこと
- d. 中間発表を実施すること
- e. 修士活動報告に関する審査に合格すること
プロジェクト科目の活動と成果に関する報告書を提出し合格すること
- f. 最終試験に合格すること
修士課程における研究活動と成果を中心とした発表を行い合格すること

※1 早期学位取得要件

大学院学則第109条第2項の「優れた業績を挙げた者」（以下参照）を満たした者は4学期以上の在籍期間を経ずに、研究科委員会が修了を認めることがあります。

【条件】GPA条件（※2）を満たし（必須条件）、次の3例などに相当する顕著な業績をあげたこと

- ・査読ありのジャーナル論文1件（第一著者として）
- ・学術書の単著が一冊
- ・認知されたコンテストで上位入賞が一回

【申請方法】

申請者：主査

申請先：研究科委員会（A館1階事務室学事窓口）に提出、または g-staff@sfc.keio.ac.jp に電子メールで提出）

申請書類：早期学位取得理由書

【提出締切】2019年9月修了予定者：2019年4月5日、2020年3月修了予定者：2019年9月13日

学生は早期学位取得候補生であることを、修士論文査読者と最終発表審査員に事前に通知してください。修了の可否については、学業成績、最終発表結果と主査の理由説明をうけて、研究科委員会が判断します。

※2 GPA条件

GPA条件を充足するには、プロジェクト科目、修士論文、入学前先行科目、自由科目を除く履修単位の科目の成績を、S=4.0 A=3.0 B=2.0 C=1.0 D=0.0と換算して計算し、平均点が2.5以上（小数点第2位は切り捨て）である必要があります。

2. 修士審査のスケジュール

詳細は「3. 修士審査の詳細」で確認してください。

各種届出書式は「塾生の皆様へ」Web サイト大学院関連提出書式よりダウンロードできます。

	2019年9月 修了予定者	2020年3月 修了予定者
①修士論文(発表)題目申請	(2018年10/5 締切済)	2019年4/26(金)
②修士論文(発表)題目変更申請 ※必要な場合のみ	2019年4/19(金)	9/27(金)
③中間発表(口頭発表) ※中間発表を行わなかった場合修了できません	5/18(土)	10/19(土)
④修士論文(発表)題目変更申請[最終] ※必要な場合のみ	6/21(金)	12/20(金)
⑤修士論文提出 ※締め切り時刻以降の提出は一切認められません	7/4(木) 15:00	2020年1/9(木) 15:00
⑥最終試験(最終発表)	7/31(水) 8/1(木)	1/29(水) 1/30(木)
⑦最終試験結果発表 ※修士論文を提出しても、最終試験が不合格の場合は修了できません	8/2(金)	1/31(金)
⑧修士論文の訂正 ※主査からの訂正指示があった場合のみ	8/7(水)	2/5(水)
⑨修士課程修了発表	9/5(木)	3/10(火)

(注) 非修論オプションを選択する者については、“修士論文”と説明があるものを、“プロジェクト科目の活動と成果に関する報告書”と読み替えます。

3. 修士審査の詳細

修士論文題目の申請や変更、修士論文の提出、訂正はすべてSFC-SFSから行います。

①修士論文(発表)題目申請

主査(指導教員)と相談のうえ、修士論文を履修する前学期初めに、修士論文題目(発表)申請を行ってください。原則として、主査は政策・メディア研究科委員でなければなりません。

【申請方法】SFC-SFSにログイン→[大学院]タブを選択→[修士・題目申請・変更]を選択
→[指導教員]・[論文題目]・[使用言語]欄入力→申請→主査の承認(SFC-SFS上)→題目申請完了

※副査2名について主査より推薦してもらい、主査の承認を受けたうえで申請してください。(この3名で、修士論文の審査を行います。)副査は、原則として政策・メディア研究科委員または大学院「プロジェクト科目」を当該学期担当する教員とします。ただし、副査2名のうち1名は、当該学期政策・メディア研究科で研究指導を行っていない人(以下、外部副査と呼ぶ)を含めることができます。

※申請した題目と、修士論文提出時の修士論文題目は、句読点、英語の大文字小文字等を含め、一文字も異なってはいけません。

※修士論文を日本語で執筆する場合は、必ず英文題目も記載してください。

②修士論文(発表)題目変更申請(必要な場合のみ)

論文題目を変更する場合は、主査と相談のうえ、変更申請を行ってください。

【申請方法】SFC-SFSにログイン→[大学院]タブを選択→[修士・題目申請・変更]を選択→変更申請欄入力
→変更申請→主査の承認(SFC-SFS上)→題目変更申請完了

※申請した題目と、修士論文提出時の修士論文題目は、句読点、英語の大文字小文字等を含め、一文字も異なってはいけません。

③中間発表

中間発表は、最終試験(最終発表)に至るまでの中間的な進捗状況を確認するものです。

中間発表時に配布するスケジュールで、申請した論文題目および主査・副査が正しいかを必ず確認してください。

【発表時間】1人15分(発表10分、質疑応答5分)

【配布資料】説明用のレジュメ(A4で1~2枚)を用意し、発表前に審査教員(一部屋20名程度)に配布してください。

【使用機器】プロジェクター、書画カメラ

※口頭試問の時間を次の発表者の準備に充てます。

※発表時に万が一機器の故障等があった場合に備え、必ず紙資料を準備してください。

※原則として上記の機器を使用することとしますが、それ以外の機器を準備する場合は各自の時間内に準備、後片付けを行なってください。

④修士論文(発表)題目変更申請[最終] (必要な場合のみ)

論文題目を変更する必要がある場合は、主査と相談のうえ、変更申請を行ってください。

【申請方法】 SFC-SFS にログイン→[大学院]タブを選択→[修士・題目申請・変更]を選択→変更申請欄入力
→変更申請→主査の承認 (SFC-SFS 上) →題目変更申請完了

※申請した題目と、修士論文提出時の修士論文題目は、句読点、英語の大文字小文字等を含め、一文字も異なってはいけません。

⑤修士論文提出

【提出締切】 2019年9月修了予定者： 2019年7月4日(木) 15:00

2019年3月修了予定者： 2020年1月9日(木) 15:00

【提出物】 修士論文：PDF形式 (PDF/A 推奨) にしたものを提出してください。

【提出方法】 SFC-SFS にログイン→[大学院]タブを選択→[修士・論文提出]を選択
→論文要旨、キーワード入力・ファイル

※修士論文のまとめ方については【修士論文のまとめ方について】を参照してください。

※設計図、作品、ソフトウェア等の添付物がある場合は事前に学事担当に相談のうえ、提出してください。ただし、模型等の作品は受け付けません。

※コピーのできない写真等の提出については指導教員と相談してください。

※締切時刻以降の提出は一切認められません。

※提出期間中は何度でも、修正が可能です。システムは提出締切日の2~3週間前よりオープンします。

※非修論オプションの場合は、プロジェクト科目に関する活動と成果に関する報告書を提出してください。

⑥最終試験 (最終発表)

「最終試験 (最終発表)」とは修士課程の学力認定試験であり、修士論文 (非修論オプションの場合は修士課程における研究活動) を中心にした発表を行い、審査を受けるものとします。最終試験に合格することが修了要件になります。

【発表時間】 1人当り30分 (発表20分、口頭試問10分)

【配布資料】 当日、説明用のレジュメ (A4で2~3枚、20部程度) を必ず用意し、発表前に審査教員に配布してください。

【使用機器】 プロジェクター、書画カメラ

※当日の発表の場では、主査は最終試験の審査員にはなれません。各会場ともに、副査を含む4名以上の審査員で審査されます。

※口頭試問の時間を次の発表者の準備に充てます。

※発表時に万が一機器の故障等があった場合に備え、必ず紙資料を準備してください。

※原則として上記の機器を使用することとしますが、それ以外の機器を準備する場合は各自の時間内に準備、後片付けを行なってください。

⑦最終試験結果発表

【発表日時】 最終試験翌日午前10:00頃

【発表方法】 学事 Web システム または 教育支援システムのトップページにて公開

SFC-SFS にログイン→[学事 Web]を選択→[学事 Web システム] または [教育支援システム] を選択

⑧修士論文の訂正

主査の指示があった場合のみ、修士論文の訂正版を提出することが可能です。

【訂正方法】

a. 主査が SFC-SFS 上で訂正を指示する。

b. 学生は訂正済のファイルを再登録する。

SFC-SFS にログイン→[大学院]タブを選択→[修士・論文提出]を選択→論文要旨、キーワード入力・ファイル選択
→登録

⑨修士課程修了発表 (学業成績表送付、Web 成績発表)

修得単位数、修士論文の評価および最終試験結果が総合的に判断されます。

【発表日時】 2019年9月修了予定者： 2019年9月5日(木)

2020年3月修了予定者： 2020年3月10日(火)

【発表方法】 学業成績表上部の判定欄を確認してください。学業成績表は本人宛に郵送しますが、Web 上でも閲覧できます。

SFC-SFS にログイン→[学事 Web]を選択→[学業成績表閲覧]を選択

《2018 年度以降入学者》

1. 修士課程の修了要件

以下の全ての条件を満たした場合、修了となります。なお、修士課程の修了にあたっては、「修士論文1・2」の単位を修得する場合と「修士活動報告1・2」の単位を修得する場合（非修論オプション）があります。

(1) 修士論文の単位を修得する場合

- a. 入学後4学期以上在籍すること（休学期間を除く）
ただし、早期学位取得要件（※1）を満たした者は除く
- b. 合計30単位以上修得すること（「修士論文1」、「修士論文2」の合計2単位を含む）
ただし、次の単位は修了に必要な30単位に含めることはできません
 - ・自由科目
 - ・プロジェクト科目と研究指導科目（修士研究会）の合計単位数のうち、16単位を超えた単位
 - ・次の単位の合計のうち10単位を超えたもの
 - 入学前先行科目として認定された単位（※2）（上限8単位）
 - 他研究科設置の科目として修得した単位
 - 入学後に他大学（留学など）で履修・認定されて修得した単位
- c. 「修士論文1」に合格すること（中間発表の実施および合格）
- d. 「修士論文2」に合格すること（修士論文審査および最終試験の合格）

(2) 修士論文の単位を修得しない場合（非修論オプション）

修士課程の修了にあたっては、修士論文の単位を修得しないで修了する場合（非修論オプション）があります。非修論オプションの修了要件は次のとおりです。非修論オプションを選択する場合は、事前に主査（指導教員）とよく相談し、中間発表を実施する学期に「修士活動報告1」、修了予定学期に「修士活動報告2」を履修してください。非修論オプションを適用する者は、「修士論文」と説明があるものについて、「プロジェクト科目の活動と成果に関する報告書」と読み換えてください。

- a. 入学後4学期以上在籍すること（休学期間を除く）
ただし、早期学位取得要件（※1）を満たした者は除く
- b. 合計30単位以上修得すること（「修士活動報告1」、「修士活動報告2」の合計2単位を含む）
ただし、次の単位は修了に必要な30単位に含めることはできません
 - ・自由科目
 - ・プロジェクト科目と研究指導科目（修士研究会）の合計単位数のうち、16単位を超えた単位
 - ・次の単位の合計のうち10単位を超えたもの
 - 入学前先行科目として認定された単位（※2）（上限8単位）
 - 他研究科設置の科目として修得した単位
 - 入学後に他大学（留学など）で履修・認定されて修得した単位
- c. 学習指導教員の承認を得た所定の科目の履修条件（GPA条件（※3））を満たすこと
- d. 「修士活動報告1」に合格すること（中間発表の実施および合格）
- e. 「修士活動報告2」に合格すること（修士活動報告に関する審査、および最終試験の合格）
なお、修士活動報告に関する審査では、プロジェクト科目の活動と成果に関する報告書を提出すること

※1 早期学位取得要件

大学院学則第109条第2項の「優れた業績を挙げた者」（以下参照）を満たした者は4学期以上の在籍期間を経ずに、研究科委員会が修了を認めることがあります。

- 【条件】GPA条件（※3）を満たし（必須条件）、次の3例などに相当する顕著な業績をあげたこと
- ・査読ありのジャーナル論文1件（第一著者として）
 - ・学術書の単著が一冊
 - ・認知されたコンテストで上位入賞が一回

【申請方法】

申請者：主査

申請先：研究科委員会（A館1階事務室学事窓口）に提出、または g-staff@sfc.keio.ac.jp に電子メールで提出

申請書類：早期学位取得理由書

【提出締切】2020年9月修了予定者：2019年8月19日（3学期で修了する場合）

2021年3月修了予定者：2020年2月19日（3学期で修了する場合）

※2 学期（1年間）で修了を予定している学生は入学時のガイダンスの際に学事窓口まで申し出てください。

ガイダンス時に申し出がなかった場合、2学期での修了はできませんので、ご注意ください。

学生は早期学位取得候補生であることを、修士論文査読者と最終発表審査員に事前に通知してください。修了の可否については、学業成績、最終発表結果と主査の理由説明をうけて、研究科委員会が判断します。

※2 入学前先行科目の単位認定

総合政策学部・環境情報学部在籍時*に、大学院政策・メディア研究科の「プログラム科目（学部併設科目を除く）」（2006

年度以前修得点は「研究領域科目」)を入学前先行科目として履修、評語S、A、Bのいずれかを修得し、政策・メディア研究科に入学後に申請手続きを行った場合、8単位を限度として修了に必要な単位として認められることがあります。2016年度以前に修得した科目の評価については、「G(認定)」で評価されます。2017年度以降に修得した科目の評価については、修得した評語S、A、Bそのままの評価となります。なお、学部在籍時に卒業に関わる単位として修得していた科目は、入学前先行科目として認定することはできませんので注意してください。

博士課程リーディングプログラムオールラウンド型参加学生及び、学部・大学院修士4年一貫教育プログラム参加学生の入学前先行科目の単位認定については、A館1階事務室学事担当窓口までお問い合わせください。

・・・政策・メディア研究科の科目等履修生または特別短期留学生としてプログラム科目を修得した者を含む

【提出書類】 入学前先行科目単位認定申請書(所定書式、所属プログラム学習指導の承認印が必要)、
学業成績表(コピー可、原本呈示のこと)
入学前先行科目単位認定申請書は、「塾生の皆様へ」Webサイト大学院関連提出書式からダウンロードしてください。

【提出締切】 4月入学者：第1学年5月末日、9月入学者：第1学年10月末日

【提出先】 A館1階事務室学事担当窓口

※3 GPA条件

GPA条件を充足するには、プロジェクト科目、修士論文、入学前先行科目、研究指導科目、自由科目を除く履修単位の科目の成績を、S=4.0 A=3.0 B=2.0 C=1.0 D=0.0と換算して計算し、平均点が2.5以上(小数点第2位は切り捨て)である必要があります。

2. 修士審査のスケジュール

詳細は「3. 修士審査の詳細」で確認してください。各種届出用紙は「塾生の皆様へ」Webサイト大学院関連提出書式よりダウンロードできます。

早期修了予定者、学部・大学院修士4年一貫教育プログラム、博士課程リーディングプログラム(オールラウンド型)及びインドネシアリンケージプログラム学生については、A館1階事務室学事担当窓口までお問い合わせください。

	2020年3月 修了予定者	2020年9月 修了予定者
①修士論文(発表)題目申請	2019年1/31(木)(済)	2019年7/19(金)
②修士論文(発表)題目変更申請 ※必要な場合のみ	6/21(金)	2020年1/15(水)
③中間発表(ポスター発表) ※中間発表を行わなかった場合「修士論文1」に合格できません	7/31(水) 8/1(木)	1/29(水) 1/30(木)
④中間発表結果発表	9/5(木)	3/10(火)
⑤修士論文(発表)題目変更申請[最終] ※必要な場合のみ	12/20(金)	6月中旬予定
⑥修士論文提出 ※締め切り時刻以降の提出は一切認められません	2020年1/9(木) 15:00	7月初旬予定
⑦最終試験(最終発表)	1/29(水) 1/30(木)	7月下旬予定
⑧最終試験結果発表 ※修士論文を提出しても、最終試験が不合格の場合は修了できません	1/31(金)	最終試験(最終発表)翌日
⑨修士論文の訂正 ※主査からの訂正指示があった場合のみ	2/5(水)	8月中旬予定
⑩修士課程修了発表	3/10(火)	9月初旬予定

(注) 非修論オプションを選択する者については、「修士論文」と説明があるものを、「プロジェクト科目の活動と成果に関する報告書」と読み替えます。

3. 修士審査の詳細

修士論文題目の申請や変更、修士論文の提出、訂正は SFC-SFS から行います。

① 修士論文（発表）題目申請

主査（指導教員）と相談のうえ、「修士論文 1」を履修する前学期に、修士論文題目（発表）申請を行ってください。主査は「修士研究会」を担当する政策・メディア研究科委員でなければなりません。

【申請方法】 SFC-SFS にログイン→[大学院]タブを選択→[修士・題目申請・変更]を選択
→[指導教員]・[論文題目]・[使用言語]欄入力→申請→主査の承認（SFC-SFS 上）→題目申請完了

※副査 2 名について主査より推薦してもらい、主査の承認を受けたうえで申請してください。（この 3 名で、修士論文の審査を行います。）副査は、原則として政策・メディア研究科委員または大学院「プロジェクト科目」を当該学期担当する教員とします。ただし、副査 2 名のうち 1 名は、当該学期政策・メディア研究科で研究指導を行っていない人（以下、外部副査と呼ぶ）を含めることができます。主査は SFC-SFS で承認作業を行います。主査が未承認の場合は、受理されたことになりません。

※申請した題目と、修士論文提出時の修士論文題目は、句読点、英語の大文字小文字等を含め、一文字も異なってはいけません。

※修士論文を日本語で執筆する場合は、必ず英文題目も記載してください。

② 修士論文（発表）題目変更申請（必要な場合のみ）

論文題目を変更する場合は、主査と相談のうえ、変更申請を行ってください。

【申請方法】 SFC-SFS にログイン→[大学院]タブを選択→[修士・題目申請・変更]を選択→変更申請欄入力
→変更申請→主査の承認（SFC-SFS 上）→題目変更申請完了

※申請した題目と、修士論文提出時の修士論文題目は、句読点、英語の大文字小文字等を含め、一文字も異なってはいけません。

③ 中間発表

中間発表は、最終試験（最終発表）に至るまでの中間的な進捗状況を確認するものです。「修士論文 1」あるいは「修士活動報告 1」履修者のみ、中間発表に参加できます。中間発表時に配布する一覧で、申請した論文題目および主査・副査が正しいかどうかを必ず確認してください。発表形式の詳細は「塾生の皆様へ」Web サイトで確認してください。

【発表形式】 ポスター発表

【実施日】 修了予定学期から 1 学期前の学期末（9 月修了の場合 1 月末、3 月修了の場合前年の 7 月末）

④ 中間発表結果発表

【発表方法】 学業成績表にて「修士論文 1」または「修士活動報告 1」の可否を確認してください。
学業成績表は本人宛に郵送しますが、Web 上でも閲覧できます。

⑤ 修士論文（発表）題目変更申請（必要な場合のみ）

論文題目を変更する必要がある場合は、主査と相談のうえ、変更申請を行ってください。

【申請方法】 SFC-SFS にログイン→[大学院]タブを選択→[修士・題目申請・変更]を選択→変更申請欄入力
→変更申請→主査の承認（SFC-SFS 上）→題目変更申請完了

※申請した題目と、修士論文提出時の修士論文題目は、句読点、英語の大文字小文字等を含め、一文字も異なってはいけません。

⑥ 修士論文提出

【提出締切】 2020 年 3 月修了予定者：2020 年 1 月 9 日（木）15:00、2020 年 9 月修了予定者：2020 年 7 月初旬

【提出物】 修士論文：PDF 形式（PDF/A 推奨）にしてものを提出してください。

【提出方法】 SFC-SFS にログイン→[大学院]タブを選択→[修士・論文提出]を選択
→論文要旨、キーワード入力・ファイル

※修士論文のまとめ方については《修士論文のまとめ方について》を参照してください。

※設計図、作品、ソフトウェア等の添付物がある場合は事前に学事担当へ相談のうえ、提出してください。ただし、模型等の作品は受け付けません。

※コピーのできない写真等の提出については指導教員と相談してください。

※締切時刻以降の提出は一切認められません。

※提出期間中は何度でも、修正が可能です。システムは提出締切日の 2~3 週間前よりオープンします。

※非修論オプションの場合は、プロジェクト科目に関する活動と成果に関する報告書を提出してください。

⑦ 最終試験（最終発表）

「最終試験（最終発表）」とは修士課程の学力認定試験であり、修士論文（非修論オプションの場合は修士課程における研究活動）を中心とした発表を行い、審査を受けるものとします。最終試験に合格することが修了要件になります。

【発表時間】 1人当り 30分（発表 20分、口頭試問 10分）

【配布資料】 当日、説明用のレジュメ（A4で2～3枚、20部程度）を必ず用意し、発表前に審査教員に配布してください。

【使用機器】 プロジェクター、書画カメラ

※当日の発表の場では、主査は最終試験の審査員にはなりません。各会場ともに、副査を含む5名以上の審査員で審査されます。

※口頭試問の時間を次の発表者の準備に充てます。

※発表時に万が一機器の故障等があった場合に備え、必ず紙資料を準備してください。

※原則として上記の機器を使用することとしますが、それ以外の機器を準備する場合は各自の時間内に準備、後片付けを行なってください。

⑧最終試験結果発表

【発表日時】 最終試験翌日午前 10:00 頃

【発表方法】 学事 Web システム または 教育支援システムのトップページにて公開

SFC - SFS にログイン→[学事 Web]を選択→[学事 Web システム] または [教育支援システム] を選択

⑨修士論文の訂正

主査の指示があった場合のみ、修士論文の訂正版を提出することが可能です。

【提出方法】

a. 主査が SFC-SFS 上で訂正を指示する。

b. 学生は訂正済のファイルを再登録する。

SFC-SFS にログイン→[大学院]タブを選択→[修士・論文提出]を選択→論文要旨、キーワード入力・ファイル
選択→登録

⑩修士課程修了発表（学業成績表送付、Web 成績発表）

修得単位数、修士論文の評価および最終試験結果が総合的に判断されます。

【発表日時】 2020年3月修了予定者：2020年3月10日(火)、2020年9月修了予定者：2020年9月初旬

【発表方法】 学業成績表上部の判定欄を確認してください。学業成績表は本人宛に郵送しますが、Web 上でも閲覧できます。

SFC-SFS にログイン→[学事 Web]を選択→[学生成績表閲覧]を選択

《修士論文のまとめ方について》

修士論文を提出する前に、修士論文のまとめ方についてよく確認してから提出してください。
修士論文の体裁が整っていない場合、受理されない可能性がありますのでご注意ください。

【作成要領】

(日本語で論文を執筆する場合)

標題紙⇒論文要旨(和文)⇒論文要旨(英文)⇒論文本文

(英語で論文を執筆する場合)

標題紙⇒論文要旨(英文)⇒論文要旨(和文)⇒論文本文

※英語で論文を執筆する場合は、論文要旨(和文)は必須ではありません。

- ・形式：PDF形式(PDF/A推奨)で提出してください。
- ・論文要旨：論文の主要な内容にかかわるキーワード5つ程度を下部に別記してください。
- ・フォーマット：標題紙、論文要旨の所定書式は、「塾生の皆様へ」Webサイト大学院関連提出書式からダウンロードしてください。URL: http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/gsmg/forms_mag.html
- ・SFC-SFSから論文を提出する際に、概要(和文)、概要(英文)およびキーワードを入力してください。
※英語で論文を執筆する場合は、概要(和文)は必須ではありません。
- ・フォントサイズ、ページ余白の指定はありません。

【言語】論文等の提出物は、日本語または英語のものとしします。

【体裁】

修士論文は以下に示す体裁例に準じてまとめてください。ただし、章・節のたて方、章・節の名称、順序などは自由です。
下記の*印は、記述内容例です。

《まとめ方の例》

第1章 はじめに(序章)

*研究のきっかけ・成り立ち

*研究の目的・意義

第2章 研究の背景

*国内外の研究状況

*研究の動向

第3章 研究の概要

*研究の概要

*研究の特徴・独創性(他の研究との相違を明記する)

*期待する成果

*研究の方法

第4章～第〇〇章 研究成果

*研究アプローチ・結果の詳細

*作品・プログラム等の説明

*特徴ある研究成果の主張

第〇〇章 おわりに(結言)

*研究成果のまとめ

*今後の課題

謝辞

参考文献

*引用文献リスト

(本文中に引用した参考文献の文献番号または著者名等を明記し、研究と参考文献との関係を明らかにする)

付録

標題紙の体裁	修士論文要旨(和文・英文)の体裁	
<p><和文の場合></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>修士論文2019年度</p> <p>論文題目</p> <p>慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科</p> <p>氏名</p> </div>	<p><和文の場合></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>修士論文2019年度</p> <p>論文題目</p> <p>論文要旨</p> <p>キーワード</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科</p> <p>氏名</p> </div>	<p>Master's Thesis Academic Year 2019</p> <p>Title</p> <p>Summary</p> <p>Key Words</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>Graduate School of Media and Governance</p> <p>Keio University</p> <p>Name</p>
<p><英文の場合></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>Master's Thesis (Academic Year 2019)</p> <p>Title of the Thesis</p> <p>Keio University</p> <p>Graduate School of Media and Governance</p> <p>Name</p> </div>	<p><英文の場合></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>Master's Thesis Academic Year 2019</p> <p>Title</p> <p>Summary</p> <p>Key Words</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>Graduate School of Media and Governance</p> <p>Keio University</p> <p>Name</p> </div>	<p>修士論文2019年度</p> <p>論文題目</p> <p>論文要旨</p> <p>キーワード</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科</p> <p>氏名</p>